

川上ダム通信

2017
4
月号



Vol. 139
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

平成29年度工事の予定

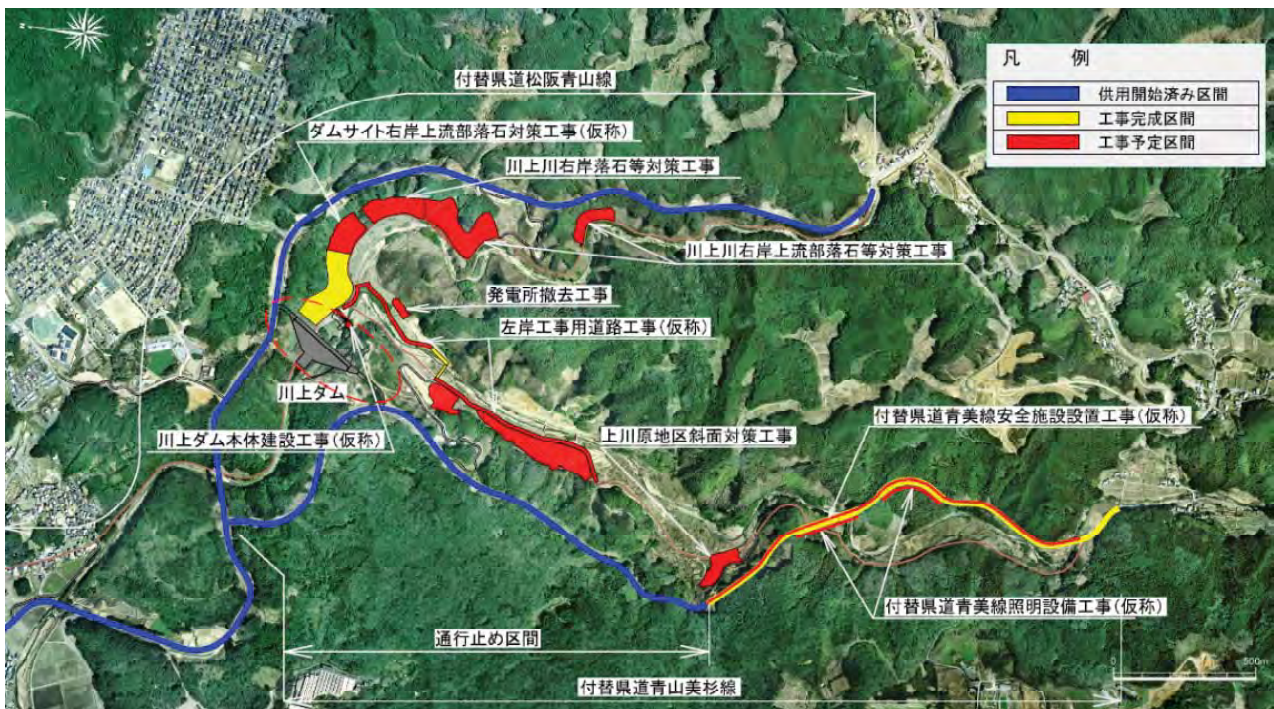
平成29年度に実施（予定）する主な工事は以下のとおりです。また、施工場所は以下の図中の赤色の部分です。

■**ダム本体 関連工事**：ダム本体工事として、ダムが造られる場所を川の流れが無い状態で施工するため、建設が完了した仮排水路トンネル（川の水を迂回させるためのトンネル）内へ川の流れを切替えさせることを目的とした河川締切堤の築造に着手します。また、ダム本体準備工事として斜面落石対策や工事用車両が通行するための工事用道路等を整備します。

■**付替県道青山美杉線 関連工事**：防護柵等の安全施設やトンネル・橋梁部の照明設備を整備します。

川上ダム建設事業の工事が増えており、それに伴い公道を走る工事車両も増えています。当建設所では、工事関係車両に対して地元車両優先と安全運転を徹底してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【工務課 小野周平】



工 事 名	工 期 等	平成29年度工事概要
川上川右岸落石等対策工事	H28.9~H29.6	斜面落石対策（予防工、防護工）
川上川右岸上流部落石等対策工事	H29.2~H29.12	斜面落石対策（予防工、防護工）
発電所撤去工事	H29.2~H29.9	阿保発電所建屋、水圧鉄管等の撤去
上川原地区斜面对策工事	H28.9~H29.12	斜面对策（押え盛土）
川上ダム本体建設工事（仮称）	上半期公告予定	河川締切堤の一部築造
左岸工事用道路工事（仮称）	入札手続き中	工事車両、建設機械等の運搬路整備
ダムサイト右岸上流部落石対策工事（仮称）	下半期公告予定	斜面落石対策（予防工、防護工）
付替県道青美線安全施設設置工事（仮称）	入札手続き中	防護柵、道路標識・付属物等の整備
付替県道青美線照明設備工事（仮称）	入札手続き中	トンネル・橋梁部の照明設備の整備

川上ダム自然環境保全委員会を開催

3月21日（火）、川上ダム建設所において「川上ダム自然環境保全委員会」を開催しました。

本委員会は、川上ダム建設事業における自然環境の保全対策について、有識者から指導・助言をいただくためのものです。

今回の委員会では、平成28年度に当建設所で実施してきた環境保全への取り組みと今後の環境保全への進め方等について、説明を行いました。

委員の方々からは、今後、工事が本格化し、予測できない変化が生じる可能性があるため、有識者への相談の機会を今まで以上の頻度で設けることを検討することなどの指導・助言をいただきました。委員会の資料や、委員会議事の内容については、当建設所のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

当建設所では、いただいた指導・助言を今後の環境調査や保全対策に反映させ、川上ダム周辺の自然環境の保全に引き続き努めてまいります。

※当建設所のホームページについてはこちらをご覧ください → <http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>

「川上ダム建設所」で検索していただいても当建設所のホームページにアクセス可能です。

【環境課 廣瀬真由】



委員会の様子

「稲葉橋」に決定！

川上ダム上流の種生地区には、県道青山美杉線の付替にともなって建設した前深瀬川に架かる橋があります。このたび地元の方に橋の名前を決めていただきました。その名も「稲葉橋」です。

この稲葉橋より下流にある前深瀬川右岸、地名でいうと種生字二ノ瀬の一部の範囲のことを古くから「いなば」と呼んでいたことが名前の由来となっています。



前深瀬川左岸側から望む「稲葉橋」です

稲葉橋の由来を調べていく中で、地元の方にお話を伺う機会をいただきました。

かつてはこの辺りで川を渡るために板をかけて作った簡易な橋を渡っていた話や、その橋の上を歩かせることのできない牛を川の中を歩いて渡らせていた話など、様々なエピソードを聞くことができました。

平成29年中には付替県道青山美杉線が全線で供用開始となり、地域の皆様にこの橋を利用していただけられるようになります。その際には、この橋の名前が「稲葉橋」だということを思い出していただくと幸いです。

【第二用地課 八重樫知宏】



初瀬街道まつり



3月5日（日）、すっかり春らしくなった陽気のなか、「第12回初瀬街道まつり」が初瀬街道阿保宿周辺で開催されました。

初瀬（はせ）街道は飛鳥時代・奈良時代より奈良と伊勢を結ぶ幹線道路として利用されており、三重県松阪市六軒から青山峠を越え、伊賀市、名張市を経て奈良県桜井市の長谷（はせ）へと至ることからその名がついたそうです。

青山支所周辺のイベント会場では、獅子神楽や和太鼓演奏などの歴史ある伝統芸能の他、餅まきなどが行われ大勢の見物客を魅了していました。



青山太鼓保存会による和太鼓の演奏



風情のある街道沿いは沢山の人で賑わっていました

街道沿いには阿保宿旧旅籠の灯籠やのれん、水車等風情あるものが多数展示されていました。

また、様々な模擬店が並んでおり、近くにある酒蔵では酒蔵まつりも開催されていました。

歴史を堪能しつつ、たくさんのグルメを味わうことができ、とても充実した一日となりました。

【調査設計課 山本晃世】



伊賀学検定に挑戦

2月19日（日）、ハイトピア伊賀で行われた伊賀学検定（初級）を、当建設所の職員3名が受検してきました。伊賀学検定は、芭蕉や忍術をはじめとした歴史・文化から雑学に至るまで、伊賀の郷土にまつわる知識力を試すための検定試験であり、今年で12回目の開催になります。

初級、中級、上級の3つのランクがあり、中級に合格すると1年間、上級に合格すると期間無制限で（検定事業が続く限り）、市内の11の観光施設を無料で拝観できます。中級は初級を、上級は中級を合格していないと受検できません。

午後1時からの初級検定には約60人が受検しており、小学生から年配の方まで様々な年代の方が挑戦していました。

一緒に受検した職員の一人は、伊賀学検定ドリルを4回も勉強してきたとのこと。「伊賀をもっと知りたい」という思いが伝わってきました。

各地を転々とするのが多い水機構の職員ですが、その先々の地元の文化・歴史を知ることは一つの楽しみです。

来年は中級に受検し、11の観光施設を無料で拝観できるようチャレンジしようと思います。皆様もチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。 【調査設計課 川野睦也】



伊賀学検定の試験会場

ハイキングin青山高原

とある休日、編集長をはじめとする自称健脚5人組で、青山高原にある髻（もとどり）山に登りました。

髻山は三重県伊賀市と津市とにまたがる標高756mの山です。周辺は室生赤目青山国定公園に指定されており、頂上周辺には多数の発電風車やアスレチック施設があるため、観光スポットとしても知られています。

頂上までは車で行くことも可能ですが、私たち自称健脚5人組は、自然を直接肌で体感するとともに日頃の運動不足を解消するため、近鉄大阪線東青山駅から徒歩で頂上を目指しました。



「布引の滝」のマイナスイオンを浴びてリフレッシュ！



天気に恵まれ伊賀・伊勢地方の景色を楽しみました

途中何度か息が上がる急坂もありましたが、布引の滝のマイナスイオンや小鳥のさえずりに元気づけられ、片道約2時間の登山を楽しむことができました。当日は天気にも恵まれ、頂上では伊賀・伊勢地方の景色を楽しむことができました。

青山高原一帯には無数のつつじが自生しており、例年5月中旬頃には見頃になるとのことです。さらに、6月4日には青山高原つつじクォーターマラソン大会が開催される予定です。皆様も見所満載の青山高原を一度訪れてみてはいかがでしょうか。

【調査設計課 山本晃世】

本誌に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層楽しみながら川上ダム通信をお読み頂けるよう、本誌に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 TEL 0595-52-1661 Mail somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

伊賀上野NINJAフェスタ2017

開催日：4月1日（土）～5月7日（日）
開催場所：伊賀市街地と上野城
お問い合わせ：0595-22-9670
伊賀市 観光戦略課（NINJAフェスタ実行委員会）

第30回青山高原つつじクォーターマラソン大会

開催日：6月4日（日）
※申込期限：4月14日（金）
開催場所：青山高原
主催：青山高原つつじクォーターマラソン大会実行委員会
お問い合わせ：0595-22-9635

編集後記

日差しが暖くなり、桜の開花の便りが聞こえて来る今日この頃となりました。私の出身地である関東地方では、桜と言えば入学式や入社式を連想させます。

新たな出会いに刺激を受けながら、引続き業務に励んでいこうと気持ちを引き締めているところです。

今年度も川上ダムそして川上ダム通信をよろしくお祈りします。

【広報誌発行事務局】

編集長	加納（所長）	
デスク	大西（総務課長）	小谷口（工務課長）
記者	谷村（総務課）	富士澤（第一用地課）
	八重樫（第二用地課）	山本（調査設計課）
	清水（環境課）	小野（工務課）